

2009 年 1 月 23 日 午後 0 時 54 分打上げ！

2009 年 1 月 23 日 午後 0 時 54 分打上げ！

打ち上げられるまでの
組立ての様子をみましょう！

慎重に！
気をつけて！

これが「いぶき」だ！

上げの日まで何度も実
 験を繰り返しながら、
 こつこつと組み立ててい
 くんだね！

衛星については
次のページで
くわしく説明する
わね

ちょっと聞きたい!

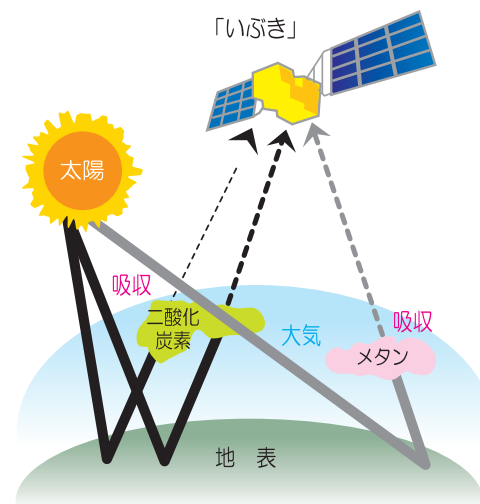
「いぶき」は地球に反射した太陽の光(赤外線)から二酸化炭素・メタンという温室効果ガスの分布や濃度を測定します。

「いぶき」は地球の表面で反射した太陽の光（赤外線）や地球や大気から放射される赤外線を宇宙から観測します。

これらの赤外線は、大気中の二酸化炭素やメタンなどの温室効果ガスの中を通過している時に吸収されていきます。

赤外線にはいろいろな種類がありますが、吸収される赤外線の種類はガスの種類によって異なります。そこでその性質を逆手にとって、どの赤外線が吸収されたかを観測することで、目には見えない二酸化炭素やメタンの存在を推測することができるのです。

ガスの濃度が濃ければ濃いほど、これらの赤外線
の吸収量は大きくなります。そこでこの吸収量を測
ることによって二酸化炭素・メタンがどのくらい
の濃さで分布しているのかを推定します。



NHK 報道局 科学文化部 山崎記者にインタビュー！

「さん・に・いち…」リフトオフ！
迫力満点のロケット打上げ。当たり前のようにテレビで
中継されているけど、その舞台裏はこんなに大変なんだ！

記者たちは打ち上げの2日前くらいには種子島宇宙センターに入るよ。記者の他にも中継をするための車両や機材を準備する技術の人たち、また、食事や宿泊先を準備する人たちなど大勢現地入りして、みんなで準備をするんだ。

僕たち記者は、事前に打ち上げの時に使うニュースの為の原稿をあらかじめ作っておくんだ。それを繰り返してチェック。また、万一のトラブルの時に備えた原稿も用意するんだよ。技術の人たちは中継場所を決めたり、中継の声や映像が正しくテレビの放送局に届くために通信機械の設置など行うよ。全員で力を合わせないと打ち上げの取材や中継はできないんだ。



山崎記者



なるべく現地で何が起きているか、テレビを見ている人にわかりやすく伝えること。そのためには事前にしっかりと打ち上げの予定やロケットの作りを勉強して、本番が始まったときは、落ち着いてマイクに向かって話すことを心がけているよ。

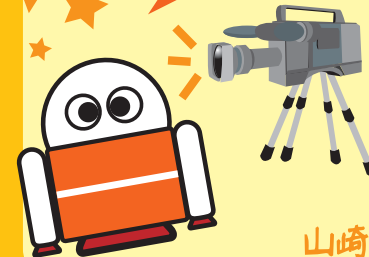


IX-

なにげなく見ていたテレビ
中継だけど、大変な努力の
結晶なんだね。

何度やっても緊張するよ。覚えていたコメントを忘れてしまったらどうしよう、などと心配になったりもする。でも、準備をしっかりとっておけば何とかなる！

発射台と中継をする場所は安全の為に少し離れているんだ。それでも打ち上げの瞬間は「バリバリバリ」と空気を大きく震わせながら大音響が迫ってくる！その迫力は想像以上でびっくり。ロケットが見えなくなって成功がわかったときは嬉しかったよ。



ロケットくん

山崎さん、どうもありがとうございました!